

歯科材料3 義歯床材料  
管理医療機器 歯科レジン系補綴物表面滑沢硬化材 70826000  
(歯科レジン用接着材料 70816000)

## レジングレース

### 【禁忌・禁止】

- 1) 本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- 2) 本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。

### 【形状・構造及び原理等】

#### 【構成】

構成名	性状	成分、材質
ジェル	ジェル	多官能モノマー、その他
リキッド	液	多官能モノマー、メタクリル酸モノマー、その他
プライマー	液	多官能モノマー、メタクリル酸モノマー、その他

#### 【原理】

可視光線(400~500nm)の光エネルギーで重合硬化する。  
また、プライマーは、歯科用レジン接着材料であり、レジン材料と滑沢硬化材のなじみを改質して接着性を向上させる。

### 【使用目的又は効果】

歯科用レジン系補綴物の表面の滑沢性及び耐磨耗性を高めるために用いる。プライマーは、表面滑沢硬化材とレジン系補綴物の接着に用いる。

#### 【具体的用途】

- 1) 歯冠用硬質レジン、アクリル系レジン等による補綴物の表面滑沢性及び耐磨耗性付与
- 2) 硬質レジン歯、アクリル系レジン歯の表面滑沢性及び耐磨耗性付与

#### 【使用目的又は効果に関連する使用上の注意】

適正な重合条件で使用すること。

【使用方法等】に記載の重合時間は、有効波長400~500nmのハロゲンランプ又はメタルハライドランプを光源とする歯科技工用光重合器及び歯科用可視光線照射器を前提に記述しております。【使用方法等】欄に記載の歯科技工用光重合器及び歯科用可視光線照射器を使用すること。なお、有効波長領域と光量については、歯科技工用光重合器及び歯科用可視光線照射器の添付文書を参考に本材に適した光量を確保して使用すること。

### \* \* 【使用方法等】

#### \* \* 【本材と併用する材料】

- 1) 歯冠用硬質レジン
- 2) 硬質レジン歯
- 3) アクリル系レジン歯
- 4) アクリル系レジン

#### \* \* 【本材に使用する機械及び器具】

- 1) 歯科技工用重合装置：

#### 歯科技工用重合装置による標準的な光照射時間

歯科技工用重合装置	ソリディライト V	アクセルキュア
光照射時間	3分	150秒

表は「ソリディライト V」及び「アクセルキュア」を用いた場合の重合時間(照射時間)です。他の歯科技工用重合装置等を使用の場合は、添付文書を参考に本材に適した光量を確保して使用してください。

#### 【使用方法】

以下に具体例として、1) 歯冠用硬質レジンの表面滑沢性付与、2) 硬質レジン歯・アクリル系レジン歯及び義歯床(アクリル系レジン)の表面滑沢性付与について記載します。

#### 1) 歯冠用硬質レジンの表面滑沢性付与

##### ①適用面の削合

築盛が完了した歯冠用硬質レジンの滑沢性を付与する部位に、歯科用研削材料(ダイヤモンドポイント、シリコンポイント、カーボランダムポイント、カーバイドバー等)を用いて、築盛が完了した歯冠用硬質レジンの表面を形態修正又は中仕上げまで施します。

##### ②接着処理

ジェルを使用する場合は必ず滑沢材を付与する部位にユニブラシやディスポーザブルブラシを用いてプライマーを塗布し、10秒間自然乾燥させます。  
リキッドを使用する場合は、接着処理を省略することができます。

##### ③滑沢材塗布

滑沢性を付与する部位にジェル若しくはリキッドを塗布し、歯科技工用重合装置を用いて光重合します。

#### 2) 硬質レジン歯・アクリル系レジン歯及び義歯床(アクリル系レジン)の滑沢性付与

##### ①適用面の削合

滑沢性の付与部位を歯科用研削材料(ダイヤモンドポイント、シリコンポイント、カーボランダムポイント、カーバイドバー等)を用いて、人工歯及び義歯床の表面を一層削合及び形態修正又は中仕上げまで施します。

##### ②接着処理

ジェルを使用する場合は必ず滑沢材を付与する部位にユニブラシやディスポーザブルブラシを用いてプライマーを塗布し、10秒間自然乾燥させます。  
リキッドを使用する場合は、接着処理を省略することができます。

##### ③滑沢材塗布

滑沢性を付与する部位にジェル若しくはリキッドを塗布し、歯科技工用重合装置を用いて光重合します。

#### 【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 適切に使用しないと未重合層部分が残ったり、色素や汚物が付着したり、変色の原因となるため、照射器と重合時間に従って重合させること。
- 2) 本材を直射日光下又は技工用ライト直下で塗布すると硬化することがあるので、あまり強い光の当たらない場所で使用すること。
- 3) 本材と他の材料を混ぜて使用しないこと。
- \* 4) 本材をノンクラスプデンチャーのアーム部(可動域)に適用した場合、口腔内への着脱によりクラックや剥がれが発生する場合があります。
- 5) 本材を使用する際には、適切な換気がなされている場所で使用すること。
- 6) キャップをはずしたまま放置すると揮発成分の蒸散、内容物の固化及びゴミの混入が生じることがあるので、使用後は速やかにキャップを最後まで閉めること。
- 7) 本材の塗布はできるだけ埃の少ない場所で行うこと。
- 8) 本材を塗布する前に、レジン表面を粗造にしないと本材とレジンの結合が不十分になり、剥離して汚れの原因となるため、

- 粗めのシリコンポイント等でレジン表面を粗造にすること。
- 9) 本材を塗布する前に、レジン切削粉・油等の付着が無いようあらかじめ清掃しておくこと。
  - 10) 本材を塗布する際に用いる筆は、毛先が荒れた筆を使用すると気泡混入の原因になるため、毛先の整った平筆を使用すること。また、塗布する際は乱雑に塗布せず、できる限り一方方向に塗布するようにすること。
  - 11) 気泡が発生したり物性に悪影響を及ぼすことがあるため、本材を厚く塗布しすぎないこと。
  - 12) 本材の塗布に用いた筆はエタノール又はセラマージュクリーナーで洗浄すること。
  - 13) 光源が青色 LED のみの照射器は使用できません。
  - 14) 本材と併用する歯科材料は、各々の添付文書等に記載の使用方法及び注意事項等を遵守すること。
  - 15) 本材は光照射器の照射能力に依存するため、ランプの劣化や埃等による汚れ、寿命等に注意すること。
  - 16) 本材を冷蔵庫で保管している場合には、使用する前に室温に戻してから使用すること。

#### 【使用上の注意】

##### [重要な基本的注意]

- 1) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には、使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- 2) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は、使用を中止し、医師の診察を受けること。
- 3) 本材は目に入らないように注意すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。
- 4) 本材の効果は永久的には持続しないため、暫間的な表面滑沢処理として使用すること。

#### 【保管方法及び有効期間等】


##### [保管方法]

- ・ 本材は、高温、多湿、直射日光、火気等を避けて、室温（1～25℃）、暗所で保管すること。
- ・ 開封後は、密栓して保管すること。
- ・ 本材は、歯科の従事者以外が触れないよう適切に保管・管理すること。

##### [有効期間]

本材の使用期限は包装に記載のとおり。

[当社データによる]

※(例)  YYYY- MM - DD は→使用期限 YYYY 年 MM 月 DD 日を示す)

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社 松風  
住所 〒605-0983  
京都市東山区福稲上高松町 11  
電話番号 075-561-1112